

Days in Kyoto, pursuing his desire for the sake of the empire and for the sake of Tosa.

皇国のため、御国のため

宿願を追いかけた京都での日々

7.19^土

2025年(令和7年)

9.15^{月祝}

【会場】高知県立坂本龍馬記念館 新館2階 企画展示室

【観覧料】一般900円(20名以上の団体720円)

高校生以下、高知県または高知市の長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳の所持者とその介護者(1名)は無料。
その他割引についてはHPをご覧ください。

【主催】高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)

【後援】高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、共同通信社高知支局、時事通信社高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSS高知さんさんテレビ、エフエム高知

表紙(資料画像)公文菊庵筆武市半平太肖像画(当館所蔵) / (資料画像)文久改革 新增観見京絵図大全 完(当館所蔵) / (資料画像)山内容堂 詩書(当館所蔵)



高知県立坂本龍馬記念館



〒781-0262 高知市浦戸城山830 TEL.088-841-0001 FAX.088-841-0015 E-mail:ryoma@ryoma-kinenkan.jp
<https://ryoma-kinenkan.jp>



Hanpeita and, Kyoto.

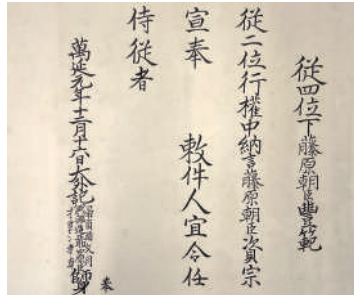
半平太と京都

Hanpeita and, Kyoto.

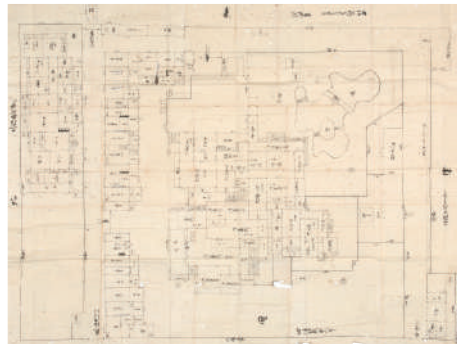
第一章

土佐藩と京都 半平太―活躍の背景

上洛した半平太が京都での政治活動を進める上で欠かせない前提条件であった、大名家や藩がさまざまな形で有していた都市・京都との関係を土佐藩・山内家との事例をもとに紹介します。



山内豊範侍従任官宣旨(高知県立高知城歴史博物館所蔵)



江戸屋敷見取図(土佐藩京都屋敷絵図)(安芸市立歴史民俗資料館所蔵)

本年2025(令和7)年は
武市半平太没後160年に
あたります。尊王攘夷思想
を掲げ、土佐勤王党を率い
た半平太にとって、朝廷のお
膝元である京都で活動する
ことができた文久2〜3年
(1862〜63)にかけての
半年ほどの歳月は、最も充
実していた時期でした。
本企画展では、半平太ら幕末の
土佐出身者が活躍する背景と
なる、土佐藩・山内家と都市・京
都の関係を振り返るとともに、
書状を中心とする資料群から、
半平太が京都で築いた人脈や足
跡を辿り、一連の政治活動の実態
に迫ります。京都における半平太
の奔走、彼を取り巻く人々、さ
らには幕末の京都という都市へ
の理解をより深めていただけま
す。と幸いです。

関連企画

記念講演会

「近世中後期から幕末の諸藩と京都」

【聴講無料／要申込・先着順70名】

7月21日(月・祝) 13:30〜15:30

会場: 当館 新館1階ホール

講師: 千葉拓真氏(鳥取市歴史博物館学芸員・
飯田市歴史研究所調査研究員)

※電話・FAX・メール・HPお問い合わせフォームから要申込

学芸員による講演会(連続講演会)

「京都における半平太の人脈と政治活動」

【聴講無料／要申込・先着順70名】

9月13日(土) 13:30〜15:00

会場: 当館 新館1階ホール

講師: 安岡達仁(当館学芸員)

※電話・FAX・メール・HPお問い合わせフォームから要申込

学芸員による展示解説【無料(要観覧料)／申込不要】

①7月21日(月・祝) 11:00〜

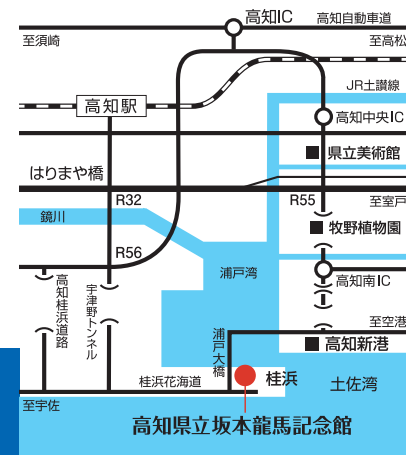
②8月23日(土) 14:00〜(各回約30分)

第二章

―帰洛から土佐帰国まで

半平太が京都に戻った文久2年
12月23日から、土佐へ帰国する
山内容堂の後を追って京都を
発った翌年4月4日までの期間
を中心に上げます。

上士への昇格、京都留守居加役
への就任など、半平太の実績が
評価される一方で、主君容堂と
の意見の相違に苦悩する半平
太の様子に迫ります。



交通アクセス JR高知駅からさきでん交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車徒歩約2分○高知駅発着で龍馬記念館などをめぐり「MY遊バス」(一日乗り放題、毎日運行)も利用できます○車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知南インターから約15分○駐車場: 普通車42台(うち障害者用駐車場2台)、バス4台

第二章

―上洛から勅使随行まで

半平太が京都に入った文久2年
(1862)8月25日から、勅使の
江戸下向に随行して京都を発った
10月12日までの期間を中心に取
り上げます。

半平太の動向と人脈の実相に焦
点を当て、政治家・半平太に迫り
ます。

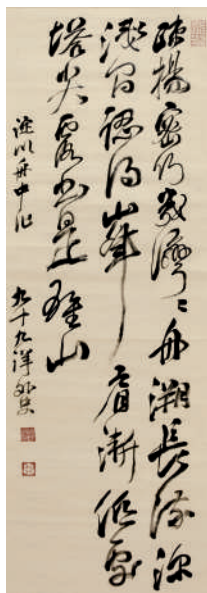


(文久2年)10月2日付小南五郎右衛門書状(佐川町立青山文庫所蔵)

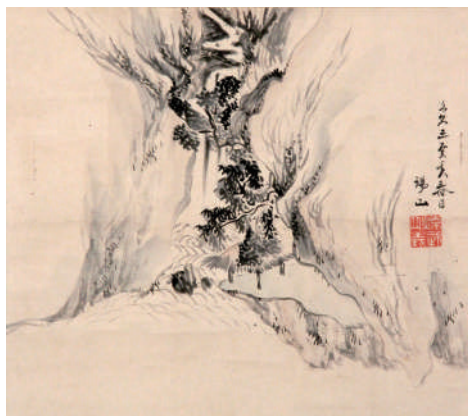


(文久2年)9月10日付武市半平太・平井収二郎宛中山忠光口述書(部分)
(高知県立歴史民俗資料館所蔵)

三条実美肖像写真(高知城所蔵)



山内容堂 詩書(当館所蔵)



武市半平太筆 山水図(佐川町立青山文庫所蔵)



(文久3年)2月29日付島村衛吉宛武市半平太書状(南国市所蔵、高知県立歴史民俗資料館寄託)